

令和6年度第2回宗像市学校給食審議会議事録(会議内容の要点)

1、日 時

令和6年11月1日(金) 13:15~14:30

2、会 場

宗像市立城山中学校 1階 地域連携室

3、出席者

審議会委員				
梅木 陽子 (福岡女子大学 准教授)	○	占部 由紀 (赤間西小学校保護者)	○	
正路 澄代 (玄海東小学校長)	欠	水牧 優 (自由ヶ丘小学校保護者)	○	
杢形 美奈子 (南郷小学校長)	欠	神山 翔伍 (河東小学校保護者)	○	
村山 正治 (城山中学校長)	○	上野 結加里 (日の里中学校保護者)	○	
古沢 昭一 (河東中学校長)	○	告坂 聖子 (玄海中学校保護者)	○	
阿部 龍彦 (大島学園校長)	○			
事務局				
中村教育部長				
(学校管理課) 吉永課長 椎葉参事 浪瀬係長 秋葉				

※議事録については会議内容の要点で作成。議事録署名委員は、正路委員が欠席のため村山会長、水牧副会長とする。

4、議 題

1、あいさつ

2、議事

(1) 令和7年度における学校給食費について

(2) 次期改定の指標について

3、その他

第3回学校給食審議会日程について

5、資 料

宗像市の学校給食における地場産物の活用について

資料1

学校給食費試算にあたって

資料2~3

令和7年度における学校給食用物資上昇率

資料4~8

令和7年度学校給食費案

資料9~11

次期改定の指標について

資料12

令和7年度学校給食費案(上昇率変更版)

当日配布

6、議事内容について

(1) 令和 7 年度における学校給食費について

事務局提案事項	議決内容
令和 7 年度の宗像市立小中学校における一食分の給食費を試算するにあたり、令和 6 年度から令和 7 年度にかけてのお米の上昇率と、その他物資の上昇率を何%とするか。事務局としては、お米は15%、その他物資は5%を提案する。 上昇率が上記の場合、令和 7 年度一食分給食費単価は、小学校・前期課程で317円、中学校・後期課程で391円としてよろしいか。 なお、上記給食費単価には、市の補助額を含まず、子どもたちがとるべき栄養量を満たし、質を落とさずに提供するための単価についてご審議いただきたい。市補助額については、市で別途協議することとする。	事務局の提案どおりで承認。 上昇率決定に伴い、小学校・前期課程の一食分給食費単価は 317 円、中学校・後期課程で 391 円とする。 ※質問事項、意見などは下記に示す。

【質問事項】

質問 1	委員：給食回数の上限について、今は小学校で193回、中学校で185回だが、回数を減らす予定はあるか。 事務局回答：学習指導要領の次期改定が数年後であることから、回数については、変更しない予定である。
質問 2	委員：お米の上昇率について、過去の状況からいくとお米の価格が上がった後、その翌年には急落している。天候による影響が大きいため予測が難しいと思うが、下がることを見越して15%としているのか。 事務局回答：過去のお米の価格の上昇は、長梅雨や冷夏などによる生育不良が原因であったが、今年については、夏の猛暑だけではなく、インバウンドの影響があると聞いている。天候によるものだけではなく、ほかの需要があることで価格が上昇していることから、価格は高止まりするのではないかと考えている。そのため15%としている。
質問3	委員：令和5年度の小学校の給食費単価について、265 円と 288 円、299円などがあるが、この数字の単価の違いを教えてほしい。 事務局回答：令和 4 年度の審議会では小学校の給食費単価は 265 円と示されていたが、令和 4 年から令和 5 年にかけては食材費の高騰が激しく、年度途中でも食材費が上昇している状況であった。そのため、265 円では運営できないと判断し、市で給食費の補助を行い、実施単価を 288 円とすることとした。

	試算表では令和 6 年度の給食費単価が示されているが、令和 7 年度の試算を行うにあたって必要な数字のため、一時的に算出した数字となる。
質問4	委員：令和 6 年度については、実施単価の 288 円で運用していると思うが、この単価は審議会を開催したうえで決定したのか。それとも市で決めた金額なのか。 事務局回答：年度途中の急激な物価高騰ということもあり、急遽市の方で試算を行い単価改定の判断を行った。
質問5	委員：前回の審議会で、保護者負担額は現状を維持したいとの説明があったが、その後の進捗状況を教えてほしい。 事務局回答：保護者負担額については、現状維持していきたいと考えている。今後、財政部局と協議する予定。いつまで補助を継続していくのかという議論になるため、委員の皆様方のご意見もお伺いしたいと考えている。
質問6	委員：過去に給食費を値上げしたことがあると思うが、保護者に対してのお知らせはいつ頃、どのような方法とする予定か。 事務局回答：過去の給食費の値上げの際は、市の補助がなかったため、審議会で決まり次第保護者の方にお知らせしていた。 しかし、今回は市の補助が入ることが想定されるので、市の予算が確定する 3 月もしくは 4 月になるだろう。ただ、学校にはそれより前に方向性だけは説明しておきたいと考えている。

【保護者負担額に関する意見（参考）】

意見1	委員：給食費の試算を行うにあたり、令和 6 年度の上昇率は 1 学期分のみ金額を反映しているという説明であったが、10 月末くらいまでの金額を反映したうえで、令和 7 年度の試算を行うべきではないか。 委員：来年度の予算運用の検討については、すでに始まっていて、10 月末の価格まで待って試算していたら、来年度の給食費の確定ができないのではないかと。 事務局回答：今回は保護者負担額のほかに、市の補助額についても協議が必要となる。市の補助額に関しては予算協議が必要となる事項であり、12 月から審議が始まる状況である。事務局としても精緻に近い数値とするため、数パターンを検討してみたが、予算審議のスケジュールから考えても、今回お示しした内容でご検討いただきたい。
意見2	委員：今の試算だと、小学校の月額給食費は 4,400 円が 5,600 円となり、上昇率が 27%となる。ただ、一般物資の上昇率は 5%であり、説明が難しくなるのではないかと。保護者の受け止めとしては、上がりすぎではないかというのが、率直な受け止めではないか。

意見3	委員：学校としては、修学旅行費もバス代の関係で、かなり上がっている。給食費の保護者負担額は据え置きにしてもらえると、総合的なバランスを考えた時に、学校現場としても説明がしやすく助かる。
意見4	委員：給食費の値上げは、自分が買い物する時も、金額が上がっているので仕方がないという受け止めである。ただ、保護者は結果しか見ないと思うので、すごく上がっているという受け止めをされるのではないかな。 今は、スグールで文書などが配信されるが、わかりやすい資料を添付し、保護者に伝わるようにした方がいいのではないかな。
意見5	委員：給食費が値上がりしたけれども、市の負担もこれだけ上がっているということが、皆さんに伝わればいいのではないかな。 本日、試食会に参加して栄養教諭の先生のお話をお伺いし、毎日あのような資料を作ってくださっていることを知って感動した。資料 1 枚でも人の心は動くと思う。自ら進んでそういった作業をされていることにも心を打たれた。 たくさんの方が関わって給食が成り立っていて、市の補助もこれだけ受けて、皆さんの税金で恩恵を受けているという、そのありがたさを保護者の方に伝えられたらいいと思っている。
意見6	委員：自分自身もスーパーに行って、お米の値段がどんどん上がっていくことに驚いていて、緊急事態であると感じている。 献立を考えている方の涙ぐましい努力を、もっと保護者にも伝えていったらいいと思う。 スグールで、本日の試食会でみせていただいたような資料が送られてきたら、保護者も理解をしてくださるのではないかな。
意見7	委員：世の中いろいろな情勢があるため、給食費が上がるのは仕方がないと思う。消費者物価指数が下がれば、また金額の見直しがあって、下がるという認識で聞いていた。 本日の試食会で見せていただいた資料は、給食の時間に流したらいいなと感じた。また子どもだけではなく、保護者にこそわかってほしい資料だと感じた。学校給食は大変なことをしていただいて成り立っているということを知らなかった。 実際に食べている子どもたちは、給食に対してありがたみを持っていると思う。
意見8	委員：本日の試食会で、栄養教諭の先生から残食がほとんどないという発言があり、子どもたちにも給食が好評であるということを知ることができた。中学生の女子の場合、食べ残しが問題になるが、男女問わず食べているということで、安心して値上げの審議にかかれると思った。 必要な栄養量から金額ベースに戻して、物価指数等を考慮して試算されているので、実情に合った金額を設定されているなど感じている。 今回は給食を実施するための単価の設定であると思うが、もし、市の補助がない場合、一人当たりなら 1,000 円程度の増額だと思うが、きょうだいがいる場合は月の負担が 2,000~3,000 円の増額となる。基本的に市での補助は継続していただけたらいいと思うが、少し気になった。 全国的には、自校式からセンター方式に切り換えるところが多い中で、宗像市はセンター

	から自校式になるという全国的にもまれな市であり、給食をとにかく大切にしている市であるという認識をしている。
--	---

【事務局より】

学校給食費の無償化については、国で一体的に進めることが望ましいという声が強いと感じている。国は子ども未来戦略の中で、無償化について検討を開始する旨の記載があり、全国の事例を収集・研究し、検討が進んでいると認識している。

市としては、国の動向を注視しながら、食のまち宗像として、地産地消と食育を推進していきたいと考えている。

(2) 次期給食費改定の指標について

事務局提案事項	議決内容
令和4年度の本審議会で次期給食費の改定の指標について、福岡県学校給食会の一般物資の上昇率、消費者物価指数(食料)のうち、いずれかが3%上昇した際に改定の検討を行うと示されている。 次期給食費の改定の指標は、上記のとおりとしてよろしいか。	事務局の提案どおりで承認 ※質問事項は下記に示す。

【質問事項】

質問1	委員：次期改定の指標について、福岡県学校給食会の一般物資上昇率が消費者物価指数(食料)のいずれかが3%上昇した際に改定の検討を行うとあるが、3%とすると、毎年改定の審議を行うことになるのではないか。 事務局回答：現在、物価の変動が激しい時期であるので、毎年審議することについて、やむを得ないと考えている。
-----	--

7、第3回学校給食審議会日程について

今年度、諮問した事項については、審議会としての意見をとりまとめることができたため、本内容に関して第3回は書面決議とし、会長及び副会長が代表して、教育委員会に答申を行うこととする。

令和6年12月16日

署名人 城山中学校 村山 正治

署名人 自由ヶ丘小学校 水牧 優